

2025年度入学生 新入生オリエンテーション

履修の手引き 履修登録編



— (学部)年間スケジュール・授業時間

— (大学院)年間スケジュール・授業時間

— 学習の評価・卒業認定基準等

— 新入生入学準備ページ

— 授業料・その他の諸費

— 奨学金・授業料減免

— 施設案内

— 各種手続き

— 相談窓口

— ボランティア

— 広報誌

— イベント

— キャンパスマップ


し寄附のお願い

HaMiDaSu特設サイトはこちら [Click](#)

 **大切なお知らせ**
> 2023.11.09
【11月11・12日】第73回語劇祭 
<https://www.kobe-cufs.ac.jp/campuslife/index.html>

 資料請求    PAGE TOP

ご入学される皆様へ（新入生入学準備ページ）

🌸合格おめでとうございます🌸

神戸市外国語大学での学生生活を始めるにあたり、是非知っておいていただきたいことをまとめたページです。大学生活をスムーズに始められるよう、このページで発信される内容をよくご確認の上、準備を進めてください。
内容は順次更新します。必ず定期的にこのページをチェックしてください。

<p>行事案内</p> 	<p>合格発表後の 手続き</p> 	<p>学生生活</p> 
<p>授業準備</p> 	<p>入学前教育</p> 	<p>コンピュータ ネットワーク</p> 
<p>国際交流</p> 	<p>図書館</p> 	<p>周辺環境</p> 

新入生 入学準備ページ

年間スケジュール(学部)・授業時間 >

年間スケジュール(大学院)・授業時間 >

新入生入学準備ページ >

授業料・その他の諸費 >

奨学金・授業料減免 >

施設 >

各種手続き >

相談窓口 >

ボランティア >

クラブ・サークル >

広報誌 >

授業準備

授業準備

年間スケジュール(学部)・授業時間 >

大学生活は、多くの点で高校生活と異なります。高校までは、毎日同じ教室に通っていたと思いますが、大学では自分が勉強する科目の行われる教室に行って、授業を受けます。毎日同じ教室に行くわけではありません。

年間スケジュール(大学院)・授業時間 >

ここでは、授業に関する準備知識をご紹介します。

新入生入学準備ページ >

入学当初は戸惑うこともあるかと思いますが、事前に少し情報を仕入れておくだけで理解が変わることもあります。このページで提供する資料を見たり、読んだりして、大学の授業の様子をつかんでください。

授業料・その他の諸費 >

1. 2025年度の授業方針

> [2025年度授業の実施方法について](#) 

奨学金・授業料減免 >

2. 授業・年間予定

> [2025年度年中行事表](#) 

施設 >

各種手続き >

オリエンテーション動画:授業・年間予定編(外部サイト)(更新中)
(「履修登録」のページにも同じ動画リンクがあります)

相談窓口 >

3. 履修登録

ご自身が何の授業を勉強するか決めて、大学に申請し、承認されることを、履修登録と呼びます。「履修登録」は皆さん一人ひとりが自分で行わなければならない非常に重要な手続きです。このページは必ず確認してください。

> [履修登録の詳細についてはこちらから](#)

クラブ・サークル >

履修登録

履修登録

年間スケジュール(学部)・授業時間 >

年間スケジュール(大学院)・授業時間 >

新入生入学準備ページ >

授業料・その他の諸費 >

奨学金・授業料減免 >

施設 >

各種手続き >

相談窓口 >

ボランティア >

1.履修登録オリエンテーション日時

2025年4月4日(金曜)
学部:8時50分集合(予定) 2部:17時40分集合(予定)

2.履修の手引き

「履修の手引き」は履修登録について詳細に説明した冊子です。冊子はオリエンテーション当日に配布しますが、3月下旬にこちらからダウンロードできるようになります。また、オリエンテーション資料もこちらからダウンロードできますので、**オリエンテーションの日**に**持参してください。**

2025年度 履修の手引き (3月下旬アップロード予定)

■2025年度オリエンテーション資料

オリエンテーション資料 授業・年間予定編(更新中)

オリエンテーション資料 履修登録編(更新中)

■動画

オリエンテーション:授業・年間予定編(更新中)

オリエンテーション:履修登録編(更新中)

履修登録？

◆ 履修登録とは

- 大学では時間割、科目は自分自身で決めて登録します。皆さんが何をどのように学んでいくか、時間割を決めて、大学に申請し、承認されることを、履修登録と呼びます。
- 半期ごとに自分で行わなければならない大切な手続きです。

履修のルール

履修にはルールがあります。

1. 卒業までに必要な単位数を修得する
2. 決められた種類の科目を、決められた数
修得する

◆ 履修のルール → 「履修の手引き」

◆ 授業の内容 → 授業要綱（シラバス）

を熟読することが大切！

単位？
修得する？
集める？

■単位とは

- ・ 予習・復習を含み、45時間の学修を必要とする科目→1単位
- ・ 本学では、毎週1時間15週の講義をもって1単位
- ・ それぞれの科目の単位数は表の中に書かれています

必修科目	A	学科専攻語学	I 階程：英語 12単位 [通年5科目、半期2科目] 講読 [1]・[2]・[3]・作文・会話・文法 [半期1単位]・発音 [半期1単位]
			III 階程：英語 12単位 [通年3科目] 講読 ([1]・[2]・[3]より2科目選択)・会話

書いていない場合は、半期2単位です

【注意事項】

1. 表右欄の数字は卒業必要単位数を示します。
2. 単位数を表記していない科目は、半期2単位です。
3. 毎年度に履修登録可能な単位の上限は49単位とします。(ただし卒業論文と課程科目を除く)
4. ◆印：兼修語学のうち自由選択語学で修得した単位は、自由選択単位に算入します。
5. 全学共通科目は、人文領域、社会科学領域、自然・人間科学領域の中からそれぞれ1科目以上の履修が必要です。
6. 語学文学コースの科目は、授業コードによって基礎・発展の区別があります。詳細は、P.61履修科目表を参照してください。

授業科目を履修し、その到達目標を達成すれば（合格すれば）、単位が修得できます。

成績評価

7 成績評価・成績発表

(1) 成績評価基準

- ・ 授業科目を履修し、その到達目標を達成すれば（合格すれば）単位が取得できます。
- ・ 各授業科目の点数が60点以上の成績であれば合格となり、点数が59点以下の場合は不合格となります。
- ・ 詳細は下記表および別に示す「成績評価基準の基本方針」でご確認ください。

【2024年度以降入学生】

合否	成績表示	評点	定義	GP
合格	S	100点以下 ～90点以上	各授業科目で定めた到達目標を、特に優れた水準で達成している	4.5 ～3.5
	A	90点未満 ～80点以上	各授業科目で定めた到達目標を、優れた水準で達成している	3.4 ～2.5
	B	80点未満 ～70点以上	各授業科目で定めた到達目標を、良好に達成している	2.4 ～1.5
	C	70点未満 ～60点以上	各授業科目で定めた到達目標を、最低限達成している	1.4 ～0.5
不合格	F	60点未満	各授業科目で定めた到達目標を、達成していない	0

※GPAは小数点第3位を四捨五入する

各学期の終わりにある試験やレポートで**60点以上**をとると単位が修得できます。

59点以下の場合は、単位は修得できません。

授業の出席に関する条件

(3) 出席に関する条件

「専攻語学」「兼修語学」「スポーツ方法1・2」には出席に関する最低要件が定められており、全授業の2分の1以上出席しなければ単位を与られません。ただしこれは最低条件であり、各授業での出席に関する具体的な条件については、シラバスもしくは教員の指示を確認してください。

8 GPA制度

GPAとはGrade Point Averageの略で、学生一人ひとりの履修科目の成績評価をグレード・ポイント (GP) に置き換えた平均を数値により表すもので、欧米で一般的に用いられている制度です。

(1) 制度の概要

①対象科目

原則として全科目を対象とします。ただし、単位を認定された科目（他大学での履修、海外留学、転部等の理由は問わない）は、対象に含めません。

②計算方法

本学でのGPA計算式は以下のとおりです。

(GPの算出方法)

次の計算式によりGPを計算します。

$$GP = (\text{評価点} - 55) / 10 \quad (\text{評価点} < 60 \text{点のとき} GP = 0)$$

[例：評価点が80点のときGP=2.5、評価点60点のときGP=0.5]

(GPAの算出方法)

GPを用いて以下の式でGPAを計算します。

$$GPA = \frac{\sum (\text{各科目のGP} \times \text{その科目の単位数})}{\text{総単位数}} \quad (\text{小数第3位を四捨五入})$$

- ・分母の総単位数には不可となった科目の単位数が含まれるため、成績が不可となった授業科目があると、分母が大きくなる分だけGPAが低くなります。これを防ぐために、履修中止制度を利用しましょう。
- ・評価点は学生には公表されないため、学生自身でGPA計算はできません。

Rule No.2

一度単位を修得した科目は再度履修できない！

でも・・・

一度履修して合格した科目は、単位を修得しましたので、もう一度履修することはできません。

ただし、本学特有の

複数回単位認定科目

は、何度でも履修することが可能です。

この科目を履修する時には、既に学習した内容と同じ内容の同じ科目を履修することはできません。また、同じ学期に同じ担当者が行う授業は履修できません。

「履修の手引き」に複数回単位認定科目の表が載っていますので、ここに記載されている科目を履修する際には、シラバスで内容をよく確認してから履修するようにしてください。

Rule No.3

1年間に履修
できる単位数
は49単位まで

(3) 年間登録可能単位の上限

⇒年間履修登録上限は49単位です。

※課程科目、卒業論文、模擬国連、単位互換科目は49単位に含みません。

※編入学生に年間履修登録上限はありません。

(6) 所属しない学部で開講する授業の履修

【学部生（英米学科・ロシア学科・中国学科・イスパニア学科・国際関係学科）】

①学部生は、第2部で開講される学部生が履修可能な授業を、在学期間中に36単位を超えない範囲で履修できます。履修可能な授業は【別表 学部生が履修可能な第2部開講科目（P84）】を参照してください。

【第2部生（第2部英米学科）】

①第2部生は、学部で開講される第2部生が履修可能な授業を、36単位を超えない範囲で履修できます。履修可能な授業は【別表 第2部学生が履修可能な学部開講科目（P95）】を参照してください。

②学部、第2部で同一科目（複数回認定科目を除く）を重複して履修することはできません。

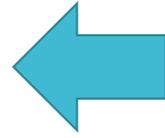
Rule No.4

決められた種類の科目を、
決められた数
修得する

【大中小修得移行】

必修科目	A	学科専攻語学
	B	兼修語学 必修語学 自由選択語学
C	学科基礎科目 (英米学科)	
D	全学共通科目	人文領域
		社会科学領域
		自然・人間科学領域
	全てのコースでコース科目として認定される	
		基礎
		E5学

ZOOM UP!



【英米学科履修科目】			履修の指針 英米学科
必修科目	A	学科専攻語学	44
	B	兼修語学	8
C	学科基礎科目 (15科目)		12
D	全学共通科目	人文領域	16
		社会科学領域	
		自然・人間科学領域	
E	全学共通科目	20	
F	研究指導・卒業論文	16	
G	自由選択単位	8	

必修科目？

2 必修科目／選択科目

授業科目は、大きく分けると必修科目と選択科目に区分されます。

(1) 必修科目

必修科目は、「専攻語学」、「兼修語学（必修語学）」と「研究指導」があり、全学生が必ず単位を修得する必要があります。ただし、「キャンパスライフ入門」、「データサイエンス入門」については、必ず履修する必要がありますが単位未修得の場合も卒業を妨げないもの（必履修科目）とします。

(2) 選択科目

選択科目は学生の多様な学習意欲を満たすために細分化されており、学科ごとに幅広い専門分野の教員が豊富な授業科目を開設しています。選択科目の分野として、「学科基礎科目」「兼修語学（自由選択語学）」「全学共通科目」「コース科目」が用意されています。

英米・ロシア・中国・イスパニア学科 専攻語学 44単位

通年＝1年間履修する科目
半期＝前期・後期のいずれかのみ履修する科目

【英米学科履修科目】

必修科目	A	学科専攻語学	I階程：英語 12単位 [通年5科目、半期2科目] 講読 [1]・[2]・[3]・作文・会話・文法 [半期1単位]・発音 [半期1単位]	II階程：英語 12単位 [通年6科目] 講読 [1]・[2]・[3]・作文・会話・総合英語	44
			III階程：英語 12単位 [通年3科目] 講読 ([1]・[2]・[3]より2科目選択)・会話	IV階程：英語 8単位 [通年2科目] 講読 ([1]・[2]・[3]より1科目選択)・作文	

【ロシア学科履修科目】

必修科目	A	学科専攻語学	※I階程：ロシア語 12単位 [通年6科目] 一括認定 [1]・[2]・[3]・[4]・[5]・[6]	※II階程：ロシア語 12単位 [通年6科目] 一括認定 講読 [1]・[2]・文法 [1]・[2]・作文会話・会話	44
			III階程：ロシア語 12単位 [通年6科目] 講読 [1]・[2]・[3]・[4]・作文・会話	IV階程：ロシア語 8単位 [通年4科目] 講読 [1]・[2]・[3]・会話	

【中国学科履修科目】

必修科目	A	学科専攻語学	※I階程：中国語 12単位 [通年6科目] 一括認定 [1]・[2]・[3]・[4]・[5]・[6]	※II階程：中国語 12単位 [通年6科目] 一括認定 講読 [1]・[2]・[3]・文法・作文・会話	44
			III階程：中国語 12単位 [通年6科目] 講読 [1]・[2]・[3]・[4]・[5]・作文会話	IV階程：中国語 8単位 [通年4科目] 講読 [1]・[2]・[3]・作文	

【イスパニア学科履修科目】

必修科目	A	学科専攻語学	※I階程：イスパニア語 12単位 [通年6科目] 一括認定 [1]・[2]・[3]・[4]・[5]・[6]	※II階程：イスパニア語 12単位 [通年6科目] 一括認定 講読 [1]・[2]・文法・作文・会話 [1]・[2]	44
			III階程：イスパニア語 12単位 [通年6科目] 講読 [1]・[2]・[3]・作文・会話 [1]・[2]	IV階程：イスパニア語 8単位 [通年4科目] 講読 [1]・[2]・作文・会話	

通年＝1年間履修する科目

半期＝前期・後期のいずれかのみ履修する科目

国際関係学科 専攻語学 24単位

必修科目	A	学科専攻語学	I階程：英語 8単位 [通年4科目] Global Issues 1, Academic Reading 1, Academic Writing 1, Oral Communication 1	II階程：英語 8単位 [通年4科目] Global Issues 2, Academic Reading 2, Academic Writing 2, Oral Communication 2	24
			III階程：英語 4単位 [通年2科目] Global Issues 3, Integrated Skills in English 1	IV階程：英語 4単位 [通年2科目] Global Issues 4, Integrated Skills in English 2	

第2部英米学科 専攻語学 40単位

必修科目	A	学科専攻語学	I階程：英語 10単位 [通年4科目、半期2科目] 講義〔1〕-〔2〕・作文・会話・文法〔半期1単位〕・発音〔半期1単位〕	II階程：英語 10単位 [通年5科目] 講義〔1〕-〔2〕-〔3〕・作文・会話	40
			III階程：英語 12単位 [通年3科目] 講義〔〔1〕-〔2〕-〔3〕より2科目選択〕・会話	IV階程：英語 8単位 [通年2科目] 講義〔〔1〕-〔2〕-〔3〕より1科目選択〕・作文	

7 英米学科

卒業必要単位（124単位）を満たすには以下のA～Gのグループから（ ）内に示されている単位数を最低限度として履修する必要があります。【別表 英米学科履修科目参照】

表のアルファベットと説明文のアルファベットが対応しています

卒業必要単位数	
必修科目	A 学科専攻語学

A. 専攻語学（44単位）

(1) 専攻語学のカリキュラムポリシー

I・II階程では、講読・発音・文法・作文・会話等の演習を通して英語の運用能力を能動的に培うとともに、英語圏の文学・文化・歴史・社会・言語についての教養を身につけます。III・IV階程では、本学で提供されているコースでの研究に不可欠な、より高度な英語の受信・発信能力を養います。

8 ロシア学科

卒業必要単位（124単位）を満たすには、以下のA～Gのグループから（ ）内に示されている単位数を最低限度として履修する必要があります。【別表 ロシア学科履修科目参照】

A. 専攻語学（44単位）

(1) 専攻語学のカリキュラムポリシー

I階程ではロシア語の正確な発音と基礎文法の定着を図ります。II階程では文法理解を深めるとともに、定型表現を習得し対話能力を養います。III階程では多様な分野のテキストを素材に、ロシア語を通じた世界の見方や異なる文体や修辞法を学習します。また、より複雑な内容を話題にした表現力を養います。IV階程では専門的なテキストの読解力、ならびにプレゼンテーションや交渉などに必要な自己表現力・対話力を強化します。

兼修語学 8単位

ロシア学科

B	兼修語学	必修語学	I 階程：英語 4 単位 [通年 2 科目 [1]・[2]]	II 階程：英語 4 単位 [通年 2 科目 [1]・[2]]	8	
		自由選択語学	英語Ⅲ [1] [2], イタリア語Ⅰ・Ⅱ, ポルトガル語Ⅰ・Ⅱ, インドネシア語, 朝鮮語Ⅰ・Ⅱ, エスペラント語, 東洋諸語			[各通年 2 単位]
			中国語Ⅲ, イスパニア語Ⅲ, フランス語Ⅲ, ドイツ語Ⅲ, 東欧諸語 1・2・3・4			[各半期 1 単位]

中国学科

B	兼修語学	必修語学	I 階程：英語 4 単位 [通年 2 科目 [1]・[2]]	II 階程：英語 4 単位 [通年 2 科目 [1]・[2]]	8	
		自由選択語学	英語Ⅲ [1] [2], イタリア語Ⅰ・Ⅱ, ポルトガル語Ⅰ・Ⅱ, インドネシア語, 朝鮮語Ⅰ・Ⅱ, エスペラント語, 東洋諸語			[各通年 2 単位]
			ロシア語Ⅲ, イスパニア語Ⅲ, フランス語Ⅲ, ドイツ語Ⅲ, 東欧諸語 1・2・3・4			[各半期 1 単位]

イスパニア学科

B	兼修語学	必修語学	I 階程：英語 4 単位 [通年 2 科目 [1]・[2]]	II 階程：英語 4 単位 [通年 2 科目 [1]・[2]]	8	
		自由選択語学	英語Ⅲ [1] [2], イタリア語Ⅰ・Ⅱ, ポルトガル語Ⅰ・Ⅱ, インドネシア語, 朝鮮語Ⅰ・Ⅱ, エスペラント語, 東洋諸語			[各通年 2 単位]
			ロシア語Ⅲ, 中国語Ⅲ, フランス語Ⅲ, ドイツ語Ⅲ, 東欧諸語 1・2・3・4			[各半期 1 単位]

兼修語学 8単位

英米学科

B	兼修語学	必修語学	I 階程：4 単位 [通年2科目 [1]・[2]] 一括認定 II 階程：4 単位 [通年2科目 [1]・[2]]	ロシア語、中国語、イスパニア語、 フランス語、ドイツ語	[1 言語選択]	8
		自由選択語学	イタリア語 I・II, ポルトガル語 I・II, インドネシア語, 朝鮮語 I・II, エスペラント語, 東洋諸語 ロシア語 III, 中国語 III, イスパニア語 III, フランス語 III, ドイツ語 III, 東欧諸語 1・2・3・4	[各通年2単位] [各半期1単位]		

国際関係学科

B	兼修語学	必修語学	I 階程：4 単位 [通年2科目 [1]・[2]] 一括認定 II 階程：4 単位 [通年2科目 [1]・[2]]	ロシア語、中国語、イスパニア語、 フランス語、ドイツ語	[1 言語選択]	8
		自由選択語学	英語 III [1] [2], イタリア語 I・II, ポルトガル語 I・II, インドネシア語, 朝鮮語 I・II, エスペラント語, 東洋諸語 ロシア語 III, 中国語 III, イスパニア語 III, フランス語 III, ドイツ語 III, 東欧諸語 1・2・3・4	[各通年2単位] [各半期1単位]		

第2部英米学科

B	兼修語学	必修語学	I 階程：4 単位 [通年2科目 [1]・[2]] 一括認定 II 階程：4 単位 [通年2科目 [1]・[2]]	ロシア語、中国語、イスパニア語、 フランス語、ドイツ語	[1 言語選択]	8
		自由選択語学	ロシア語 III, 中国語 III, イスパニア語 III [各半期1単位]			

4. ◆印：兼修語学のうち自由選択語学で修得した単位は、自由選択単位に算入します。

兼修語学アンケート

大学案内

学部

大学院

教育

研究活動

入試情報

学生

相談窓口 >

ボランティア >

オリエンテーション:授業・年間予定編(更新中)

クラブ・サークル >

オリエンテーション:履修登録編(更新中)

広報誌 >

学生生活調査 >

イベント >

キャンパスマップ >

学生生活における注意
点 >

外大×高専 新たな取
組み >

3. 兼修語学の登録

本学では皆さんが各学科で専攻語学として専攻する言語の他に、兼修語学(第2外国語)の履修が卒業必要単位となっています。詳細は「2. 履修の手引き」の動画をご確認ください。

・ロシア学科・中国学科・イスパニア学科の方⇒英語

・英米学科・国際関係学科・第2部英米学科の方⇒[申込方法](#)(> PDF )

英米学科・国際関係学科・第2部英米学科の方は、希望言語に関するWEBアンケートにご回答いただきますので、**全員必ず上記PDFを確認の上、期限(3月31日)までに回答をお願いします。**

■ クラス発表

【日時】4月9日(水曜)

【発表方法】GAIDAI PASS

※GAIDAI PASSとは、本学学生が利用するポータルサイトです。利用方法等はオリエンテーション時に説明します。

キャンパスライフ
入門

データ
サイエンス入門

2 必修科目／選択科目

授業科目は、大きく分けると必修科目と選択科目に区分されます。

(1) 必修科目

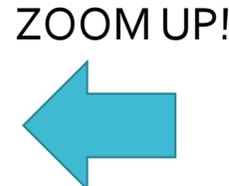
必修科目は、「専攻語学」、「兼修語学（必修語学）」と「研究指導」があり、全学生が必ず単位を修得する必要があります。ただし、「キャンパスライフ入門」、「データサイエンス入門」については、必ず履修する必要がありますが単位未修得の場合も卒業を妨げないもの（必履修科目）とします。

(2) 選択科目

選択科目は学生の多様な学習意欲を満たすために細分化されており、学科ごとに幅広い専門分野の教員が豊富な授業科目を開設しています。選択科目の分野として、「学科基礎科目」「兼修語学（自由選択語学）」「全学共通科目」「コース科目」が用意されています。

全学共通科目

B	兼修語学	必修語学
		自由選択語学
C	学科基礎科目 (英米学科)	
D	全学共通科目	人文領域
		社会科学領域
		自然・人間科学領域
		全てのコースでコース科目として認定される
E	語学文学	基礎
		発展



【英米学科履修科目】		履修の指針 英米学科
A	学科基礎科目	1 履修：英語 12単位 (通年2科目、中期2科目) 2 履修：英語 12単位 (通年2科目) 3 履修：英語 12単位 (通年2科目) 4 履修：英語 12単位 (通年2科目)
B	必修語学	1 履修：英語 12単位 (通年2科目、中期2科目) 2 履修：英語 12単位 (通年2科目) 3 履修：英語 12単位 (通年2科目)
B	自由選択語学	1 履修：英語 12単位 (通年2科目) 2 履修：英語 12単位 (通年2科目) 3 履修：英語 12単位 (通年2科目)
C	学科基礎科目 (英米学科)	1 履修：英語 12単位 (通年2科目、中期2科目) 2 履修：英語 12単位 (通年2科目) 3 履修：英語 12単位 (通年2科目)
D	全学共通科目	1 履修：英語 12単位 (通年2科目、中期2科目) 2 履修：英語 12単位 (通年2科目) 3 履修：英語 12単位 (通年2科目)
E	語学文学	1 履修：英語 12単位 (通年2科目、中期2科目) 2 履修：英語 12単位 (通年2科目) 3 履修：英語 12単位 (通年2科目)
F	研究指導、卒業論文	1 履修：英語 12単位 (通年2科目、中期2科目) 2 履修：英語 12単位 (通年2科目) 3 履修：英語 12単位 (通年2科目)
G	自由選択単位	1 履修：英語 12単位 (通年2科目、中期2科目) 2 履修：英語 12単位 (通年2科目) 3 履修：英語 12単位 (通年2科目)

キャンパスライフ
入門

+

データ
サイエンス入門

=KCUPS DASH

(数理・データサイエンス・AI教育
プログラム)

学部

D	全学共通科目	人文領域	宗教学入門, 哲学概論, 日本思想史, 仏教学, 倫理学入門, ジェンダー論入門, 社会学入門, アメリカ地域論, ヨーロッパ地域論入門, 西洋史, 東洋史入門, 日本史入門, 歴史学入門, 言語学入門, 日本語学概論1・2, 日本文学論入門, 日本文化入門, 近現代日本社会入門, 言語学基礎論1・2, 音声学1・2, 古典語(ラテン語)1・2, 海外派遣留学科目1~4, 海外協定校短期研修1・2, 中東欧研究入門1~4 [各半期1単位], 海外認定校提供科目A	16
		社会科学領域	憲法1・2, 現代の法, 現代の政治, 地域経済と企業, 現代日本経済論1・2, 経済経営入門, 現代国際法政問題, 現代国際経済問題, 現代国際文化問題, インターンシップ(就業体験)1・2 [各半期1単位], 現代の企業経営, 国際ビジネス・コミュニケーション, ビジネスロシア語1・2, ビジネス中国語1・2, 商業イスペイン語1・2, 現代世界経済論1・2, 社会開発論, 社会人類学入門	
		自然・人間科学領域	自然の認識1・2, 東の科学, 西の科学, 数理の世界1・2, 情報科学概論1~3, 人権論, 人権教育, 環境と人間, 人間形成論入門, 社会心理学入門1・2, 臨床心理学入門1・2, 生涯教育論1・2, 児童英語教育, スポーツ方法1・2 [各半期1単位], 教育原理, 教育哲学, 教育史, 神戸・教育インターンシップ1~3 [各半期1単位], キャリアデザイン, ジャーナリズム論1, キャンパスライフ入門, データサイエンス入門	



第2部英米

各2単位

D	全学共通科目	人文領域	宗教学入門, 宗教学基礎論, 哲学概論, 日本思想史, 西洋哲学史, ジェンダー論入門, 社会学入門, 社会学, ヨーロッパ地域論入門, ヨーロッパ地域論, 文化人類学1・2, アジア言語文化の諸問題, 西洋史, 日本史入門, 日本史, 歴史学入門, 言語学入門, 日本語学概論1・2, 日本語の文法, 日本語の形と意味, 日本語の音声, 日本語の多様性, 日本文学論入門, 日本文学論, 日本文化入門, 近現代日本社会入門, 日本文化入門「第3」1・2, 言語学基礎論1・2, 言語類型論, 歴史言語学, 音声学1・2, 古典語(ギリシャ語)1・2, 古典語(ラテン語)1・2, 日本語教育の基礎, 外国人学習者の観点から見た日本語, 海外派遣留学科目1~4, 海外協定校短期研修1・2, 海外協定校提供科目A	12
		社会科学領域	憲法1・2, 現代の法, 現代の政治, 現代の経済, 現代日本経済論1・2, ミクロ経済学1・2, マクロ経済学1・2, 経済経営入門, 簿記原理, 日本と世界1・2, インターンシップ(就業体験)1・2 [各半期1単位]	
		自然・人間科学領域	自然の認識1・2, 数理の世界1・2, 統計学1・2, 情報科学概論1~3, 人権論, 人権教育, 人間形成論入門, 人間形成論, 社会心理学入門1・2, 臨床心理学入門1・2, 児童英語教育, スポーツ文化論1・2, スポーツ方法1・2 [半期1単位], 教育原理, 教育哲学, 教育史, ジャーナリズム論1・2, 図書館情報学概論, 生涯学習概論, 図書館概論, 図書・図書館史, 神戸・教育インターンシップ1~3 [各半期1単位], キャンパスライフ入門, データサイエンス入門	



各2単位

必ず履修する必要がありますが単位未修得の場合も卒業を妨げないものとしします。

1年次

2年次

3年次

4年次

専攻語学I

専攻語学II

専攻語学III

専攻語学IV

学科基礎科目

コース科目

研究指導

卒業論文

全学共通科目

数理・データサイエンス・AI教育プログラム (KCUPS-DASH)

データサイエンス入門

全学共通科目・情報系科目

情報科学概論1

情報科学概論2

情報科学概論3

全学共通科目・キャリア系科目

キャリアデザイン

インターンシップ
(就業体験)

キャンパス
スライフ
入門

選択科目

C	学科基礎科目 (英米学科)	美国史、英国の文化、米国内史、米国の文化、英国の社会1・2、米国の社会1・2、英語圏の文化と社会1・2、英文学史1・2、米文学史1・2、英語学概論1・2、英語研究入門1・2	12	
	人文領域	宗教学入門、哲学概論、日本思想史、仏教学、倫理学入門、ジェンダー論入門、社会学入門、アメリカ地域論、ヨーロッパ地域論入門、西洋史、東洋史入門、日本史入門、歴史学入門、言語学入門、日本語概論1・2、日本文学論入門、日本文化入門、近現代日本社会入門、言語学基礎論1・2、音声学1・2、古典語(ラテン語)1・2、海外派遣留学科目1・2・3・4、海外協定校短期研修1・2、中東研究入門1・2・3・4 [各半期1単位]	16	
D	社会科学領域	憲法1・2、現代の法、現代の政治、地域経済と企業、現代日本経済論1・2、経営経営入門、現代国際法概論、現代国際経済概論、現代国際文化概論、インターンシップ(就業体験)1・2 [各半期1単位]、現代の企業経営、国際ビジネス・コミュニケーション、ビジネスロシア語1・2、ビジネス中国語1・2、商業イスパニア語1・2、現代世界経済論1・2、社会開発論、社会人類学入門	16	
	自然・人間科学領域	自然の認識1・2、東の科学、西の科学、数理の世界1・2、情報科学概論1・2・3、人権論、人権教育、環境と人間、人間形成論入門、社会心理学入門1・2、臨床心理学入門1・2、生涯教育論1・2、児童英語教育、スポーツ方法1・2 [各半期1単位]、教育原理、教育哲学、教育史、神戸・教育インターンシップ1・2・3 [各半期1単位]、キャリアデザイン、ジャーナリズム論1、初年次研修 [半期1単位]		
E	全てのコースでコース科目として認定される	構想関連 [コース科目への認定は1回限り、2回目以降は自由選択単位となる。]		
	語学 文学	基礎	英米文学・文化研究入門、英米文学と視覚文化、英米文学と社会、比較文学、現代の思想と文化、英語史1・2、音声学・音韻論講義、綴り論講義、意味論講義、語用論・談話分析講義、応用言語学1・2、構文研究、語法文法研究、文学翻訳演習、通訳演習1・2、メディア英語演習1・2、リスニング分析1・2、オーラル・プレゼンテーション1、通訳(基礎)、会議通訳(逐次)、翻訳、パブリック・スピーチ、映画研究、翻訳理論、メディア論、英語学特殊講義(現代社会)1・2・3・4、社会言語学、小学校英語教育論	20
		発展	英米文学特殊講義、イギリス文学特殊講義、アメリカ文学特殊講義、英語圏文学特殊講義、英語・演劇特殊講義、英米文化特殊講義、英語学特殊講義、イギリス文学研究演習1・2、アメリカ文学研究演習1・2、英語圏文学研究演習、英米文化研究演習、Advanced Writing1・2、英語学研究演習1・2、英語教育学演習、オーラル・プレゼンテーション2、放送通訳、会議通訳(同時)、小学校英語教育論演習	
	国際 法政	基礎	民法1・2、政治学1・2、国際政治学1・2、比較政治1・2、国際法「基本」1・2、国際政治経済学、アジア国際関係史1・2、アメリカ政治1、中国法概論、社会学、ロシアの社会2、移民社会論、統計学1・2、文化と政治、ロシア政治経済論1・2	20
		発展	民法3・4・5、行政法1・2、国際取引法1・2、法政特論1・2、進上岡地域社会論1・2、国際紛争処理法、国際法「発展」1・2、国際私法1・2、ヨーロッパ政治1・2、アフリカ政治1・2、アメリカ政治2、移民社会論演習、ゲーム理論、比較地域研究1・2、東南アジア地域論：政治、商法1・2、労働法、東南アジア地域論特殊講義：政治	
	経済 経営	基礎	ミクロ経済学1・2、マクロ経済学1・2、簿記原理、経営学1・2、神戸研究、近代世界システム成立史、統計学1・2、ロシア政治経済論1・2	20
		発展	国際経営論1・2、ミクロ経済政策1・2、マクロ経済政策1・2、産業組織の経済学1・2、経済学演習1・2、経済学特殊講義1・2、経営学特殊講義1・2、会計学1・2、マーケティング論1・2、国際商論1・2、商業英語1・2、国際金融論1・2、国際貿易論、貿易政策論、開発経済論1・2、多国間企業論1・2、金融論1・2、財政学1・2、公共政策、分業経済、計量経済学1・2、商法1・2、労働法、ゲーム理論、東南アジア地域論：経済、東南アジア地域論特殊講義：経済	
	多文化 共生	基礎	宗教と社会の共生、ヨーロッパ地域論、移民社会論、朝鮮文化論1、外国人学習者の観点から見た日本語、日本語の形と意味、日本語の多様性、民族誌学1、近現代日本社会、アジアの文化と社会の共生1・2、アジア言語文化の諸問題、フランスの思想と社会1、出版と編集1、コミュニケーション学概論、コミュニケーション理論、言語と国家、社会人類学、コミュニケーション論、異文化間コミュニケーション論、英米文学特殊講義(現代社会)1・2、英語学特殊講義(現代社会)1・2・3・4、比較文化論1、バリアフリー論、日本語訳、ロシア文化特殊講義1、中国文化特殊講義1、ラテンアメリカ文化特殊講義1・2、社会調査分析1・2、文化と政治	20
		発展	フランスの社会、朝鮮文化論2、民族誌学2、日本語の読解研究、日本語変異の研究、近現代日本社会研究1・2、言語文化の多様性とアジア1・2、フランスの思想と社会2、出版と編集2、コミュニケーション研究、言語と文化、社会人類学研究、比較文化論2、ジェンダー共生論演習、社会共生論演習、プロジェクト演習、東南アジアの社会と文化、比較地域研究1・2、東南アジア地域論：経済、東南アジア地域論：政治、東南アジア地域論特殊講義：経済、東南アジア地域論特殊講義：政治、ロシア文化特殊講義2、中国文化特殊講義2、移民社会論演習	
	リョウト アップ	基礎	宗教学基礎論、西洋哲学史、倫理学、フランス文化論1、ヨーロッパ文化史1、ヨーロッパ文化論1、ヨーロッパ文学論、東洋史、日本史、日本文学論、言語概論、歴史言語学、古典語(ギリシア語)1・2、日本語教育の基礎、人間形成論、日本語の文法、日本語の音声、日本の文化、西洋古典学1、哲学、自然科学(基礎)1・2、人間関係論1・2、スポーツ文化論1・2、中欧文化史1、ヨーロッパにおけるドイツ1、フランス文学論1、ジェンダー論、文化芸術論1、社会学、小学校英語教育論、社会調査分析1・2	20
発展		フランス文化論2、ヨーロッパ文化史2、ヨーロッパ文化論2、日本文化の諸相1・2、言語学研究1・2、小学校英語教育論演習、社会言語学、西洋古典学2、西洋史研究、アジア言語文化1・2、歴史学特殊講義、自然科学(発展)1・2、スポーツ文化論演習「第1」1・2、スポーツ文化論演習「第2」1・2、一般言語学から見た日本語、日本語の統語論的研究、日本語の意味・機能研究、日本語音声・音韻の研究、日本文化研究1・2、アジア言語学1・2、哲学特殊講義1・2、中欧文化史2、ヨーロッパにおけるドイツ2、フランス文学論2、社会心理学演習1・2、臨床心理学演習1・2、現代文明論、文化芸術論2		

目的？

ディプロマ ・ポリシー？

カリキュラム ・ポリシー？

ディプロマ・ポリシー

外国語学部は、専攻する言語の高度な運用能力と、その言語の背後に広がる文化や社会に関する深い知識の習得に加え、言語・文学、法律・政治、経済・経営、文化などの多様な専門領域を学ぶことにより養われる複眼的思考力と、他者への理解に基づく他者との協調性を備えた、国際的視野を持って活躍できる「行動する国際人」を育成することを目的としています。

この目的を踏まえて、次のような資質を持つ「行動する国際人」に学士の学位を授与します。

ディプロマ・ポリシー

こんな能力を養った人に学位を授与しますという方針であり、学生の学修成果の目標ともなるもの。

カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーを達成するために、どのようなカリキュラムを作り、どのような教育内容・方法を実施するのかを定める基本的な方針。

DP? ディプロマ・ ポリシー?

2 ディプロマ・ポリシー

本学では、次のような資質を持つ「行動する国際人」に学位（※英米・ロシア・中国・イスパニア・第2部英米学科においては「学士（外国学）」、国際関係学科においては「学士（国際関係学）」）を授与します。

ディプロマ・ポリシー		
1	能動的に学ぶ力	世界で活躍する人間にふさわしいリテラシーや倫理を備え、多様な背景を持つ人々と協働する力を身につけている
2	世界の多様性を観る力	国際的な視点を持って、多様な文化や社会を理解する力を身につけている
3	高度な外国語運用能力	高度で柔軟な外国語運用能力を身につけている
	英米学科	歴史・文化・言語学的背景に基づいて英語を理解するとともに、自らの学問的関心の追求に適した高度な運用能力を身につけている
	ロシア学科	自らの目的や課題のために必要な情報や知識を獲得し、自らの意見を効果的に表現できるロシア語の総合的運用能力を身につけている
	中国学科	中国語圏の多様な言語・文化・社会状況への理解に裏打ちされた、時代の変化や地域的特性に柔軟に対応できる総合的な中国語運用能力を身につけている
	イスパニア学科	歴史的・文化的背景に基づいて情報を的確に理解するとともに、自らの見解を効果的に発信するイスパニア語の能力を身につけている
4	国際関係学科	批判的・客観的な国際感覚に基づいた、国際社会で通用する英語の運用能力と自己表現力を身につけている
	専門的思考力・表現力	体系的な学問習得により、自らの考えをまとめる思考力と表現力を身につけている
	語学文学コース	専攻する地域の言語・文学・文化について十分な認識を持っている。複眼的な思考力を身につけている
	国際法政コース	歴史的背景や社会的文脈を理解した上で、現代の国際社会が抱える諸問題に向き合うことができる
	経済・経営コース	経済学、経営学、または商学を体系的に習得し、自身の関心のある問題に応用できる能力を身につけている
	多文化共生コース	多様なバックグラウンドを持つ人々との共生を図るための行動力を身につけている
	リベラルアーツコース	人文学・社会科学・自然科学などリベラルアーツの根幹となる諸分野を理解している
5	グローバル化された社会で行動し生きる力	課題の発見・分析・解決に導く複眼的思考力を持ち、積極的に世界に向き合う姿勢を身につけている

DP? ディプロマ・ ポリシー?

【第2部英米学科】

ディプロマ・ポリシー		
1	能動的に学ぶ力	世界で活躍する人間にふさわしいリテラシーや倫理を備え、多様な背景を持つ人々と協働する力を身につけている
2	世界の多様性を観る力	国際的な視点を持って、多様な文化や社会を理解する力を身につけている
3	高度な外国語運用能力	高度で柔軟な外国語運用能力を身につけている
	第2部英米学科	歴史・文化・言語学的背景に基づいて英語を理解するとともに、自らの学問的関心の追求に適した高度な運用能力を身につけている。
4	専門的思考力・表現力	体系的な学問習得により、自らの考えをまとめる思考力と表現力を身につけている
	英語学・英語研究コース	英語の人間・社会・文化に対する関わりを深く理解しており、英語学・英語教育学の観点からことばや教育に関する諸問題を分析する力を身につけている。
	英語圏文化文学コース	英語圏の文化・社会・文学について深い認識があり、文学研究や文化研究の観点からことばや文化表象の問題について分析する力を身につけている。
	法経商コース	法学・経済学・経営学・商学の視点から現代の諸問題を分析する力を身につけている。
5	グローバル化された社会で行動し生きる力	課題の発見・分析・解決に導く複眼的思考力を持ち、積極的に世界に向き合う姿勢を身につけている

カリキュラム・マップ?

【科目分類による基本DP（学部・第2部）】

DPとはディプロマ・ポリシーのことです。

DPの詳細については、ディプロマポリシーの項目を参照してください。

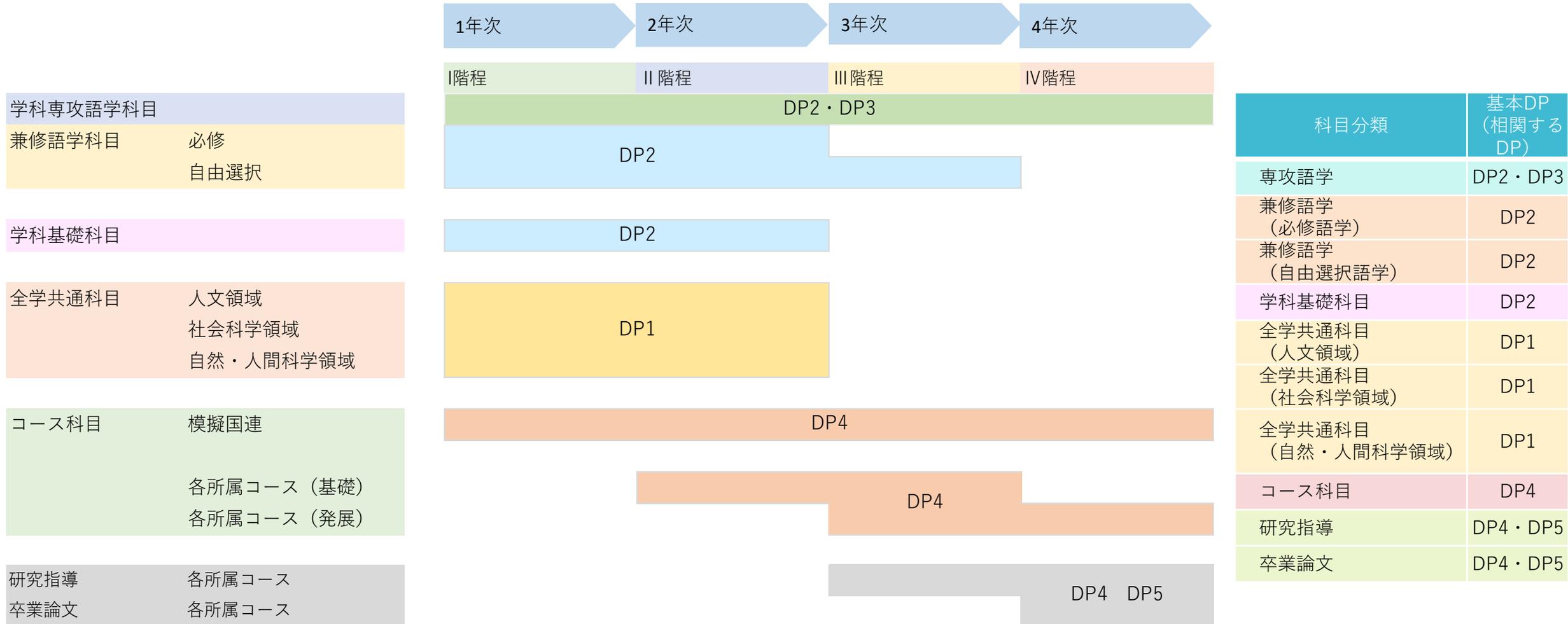
科目分類	基本DP（関連するDP）
専攻語学	DP2・DP3
兼修語学（必修語学）	DP2
兼修語学（自由選択語学）	DP2
学科基礎科目	DP2
全学共通科目（人文領域）	DP1
全学共通科目（社会科学領域）	DP1
全学共通科目（自然・人間科学領域）	DP1
コース科目	DP4
研究指導	DP4・DP5
卒業論文	DP4・DP5
課程科目	—

1	能動的に学ぶ力
2	世界の多様性を観る力
3	高度な外国語運用能力
4	専門的思考力・表現力
5	グローバル化された社会で行動し生きる力

カリキュラム・マップ

カリキュラム・ポリシーの体系性を科目レベルで表現するものとして、カリキュラム・マップを策定しています。科目分類により、下記表に従い、基本的なディプロマ・ポリシーとの関連を示しています。

※下記マップは概要のため、各科目の詳細については、シラバスで確認すること



科目 ナンバリング？

5 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系的性を明示する仕組みのことです。授業科目個々の学問的位置づけを示すことにより、みなさんの計画的な学修への一助とすることを目的としています。

分野と年次に対応して各科目に付番することで分野、授業レベルが明確になり、順序立てて授業を選択することができ、体系的な履修計画を立てることができます。

また、単位取得してきた科目のコードを見ることで、自身がこれまでどの学問分野を履修し、その科目がどのレベルのものであるか等の学修状況が分かるようになることが期待されます。さらには、科目ナンバリングはアメリカのほとんどの大学で導入されており、海外の大学への留学時の活用にも期待されます。

各々の授業の科目ナンバリングは、シラバスに記載されていますので、シラバスをご確認ください。

コード体系

本学の科目ナンバリングは下記のとおりコード体系となっています。

- 分科 — 科目の学問分野を表します
- 水準 — 当該授業の授業レベルを表します
- 授業コード — 各々の授業に付されているコードです

例) 21110010 専攻英語 I 講読 [1] (短編小説) A の場合

分科	-	水準	-	授業コード
LAN	-	10	-	21110010
言語		専攻英語 I		講読[1](短編小説)
LAN-10-21110010				

科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことです。授業科目個々の学問的位置づけを示すことにより、みなさんの計画的な学習への一助とすることを目的としています。

例) 21110010 専攻英語Ⅰ 購読 [1] (短編小説) A の場合

分科	-	水準	-	授業コード
LAN 言語	-	10 専攻英語Ⅰ	-	21110010 購読 [1] (短編小説)

LAN-10-21110010

◆分科

科目名	分科	科目名	分科
言語	LAN	経済学	ECO
情報学	INF	経営学	MAN
地域研究	ARS	社会学	SOC
ジェンダー	GDE	心理学	PSY
哲学	PHI	教育学	EDU
芸術学	ART	数学	MAT
文学	LIT	天文学	AST
言語学	LIN	健康・スポーツ科学	HSS
史学	HIS	物理学	PHY
文化人類学	CAN	科学社会学 ・科学技術史	SHS
法学	LAW	研究指導 (ゼミ)	SEM
政治学	POL	卒業論文	THE

◆水準

科目分類		水準	想定履修年次
専攻語学	I 階程	10	1年次
	II 階程	20	2年次
	III 階程	30	3年次
	IV 階程	40	4年次
兼修語学	I 階程	10	1年次
	II 階程	20	2年次
	III 階程	30	3年次
	自由選択語学	10/20	1~2年次
学科基礎科目		15	1~2年次
全学共通科目		15	1~2年次
コース科目 (基礎)		25	2~3年次
コース科目 (発展)		35	3~4年次
研究指導3年/卒業論文指導「第1」		30	3年次
研究指導4年/卒業論文指導「第2」		40	4年次
卒業論文		40	4年次
課程科目		90 ³⁶	適宜

シラバス

開講年度 (Year)	授業コード (Class Code)	シラバス番 号 (Syllabus No.)	授業形態 (Style of Class)		科目ナンバリング (Course Numbering Code)
2024年度	22110000	106	講義・対面		LAN-10-22110000
単位数 (Credit)	履修期間 (Semester)	曜日 (Day)	時限 (Period)	開講学部 (Department)	
2単位	通年	金	1	学部	
職名 (Lecturer's Title)	教員名 (Lecturer's Name)				
教授	金子 百合子				
科目名 (Course Title)	専攻ロシア語Ⅰ[1] Elementary Russian (1) for Russian Majors			授業名 (Class)	
科目区分 (Classification)	専攻語学 (ロシア)				
旧科目名 (Course Title)	専攻ロシア語Ⅰ[1]			旧授業名 (Class)	
旧区分 (Classification)	専攻語学 (ロシア)				

大学案内

- 大学案内(パンフレット)
- 大学院案内(パンフレット)

入試関連イベント

- オープンキャンパス
- 大学進学説明会
- 大学院進学説明会

よくあるお問合せ

- よくあるお問合せ

寄附のご案内

- 本学への直接寄附
- ふるさと納税
- クラウドファンディング

公式SNS

- YouTube
- Instagram
- LINE
- X
- Facebook
- Podcast
- LinkedIn

講演会・イベント

- 講演会一覧
- 語劇祭
- 学園祭

学生・卒業生インタビュー

- 在学生インタビュー
- 留学レポート
- 卒業生お仕事図鑑

関連団体

- 楠ヶ丘会(同窓会)
- 神戸市外国語大学消費生活協同組合
- 大学共同利用施設UNITY
- 全国外大連合会

シラバス検索 



シラバス

開講年度 (Year)	授業コード (Class Code)	シラバス番 号 (Syllabus No.)	授業形態(Style of Class)		科目ナンバリング(Course Numbering Code)
2024年度	22110000	106	講義・対面		LAN-10-22110000
単位数(Credit)		履修期間(Semester)	曜日(Day)	時限(Period)	開講学部(Department)
2単位		通年	金	1	学部
職名(Lecturer's Title)	教員名(Lecturer's Name)				
教授	金子 百合子				
科目名(Course Title)	専攻ロシア語Ⅰ[1] Elementary Russian (1) for RussianMajors			授業名(Class)	
科目区分(Classification)	専攻語学 (ロシア)				
旧科目名(Course Title)	専攻ロシア語Ⅰ[1]			旧授業名(Class)	
旧区分(Classification)	専攻語学 (ロシア)				

シラバス

外国語到達目標(Foreign Language Objectives)	ロシア語の発音と文法の基礎を学ぶ (テルキ基礎/CEFR_A2, ロシア語能力検定3級)
主題と到達目標(Theme and Objectives of Class)	何事も基礎が肝心であり、外国語学習の場合の基礎とは初級中級文法に他なりません。この土台がしっかりしていないと、それ以降の学習は足場の悪いところに建設工事をするようなもので、非常に効率が悪いものになります (そして結局振り出しに戻るようになります)。したがって、教科書を中心に基本的な文法事項を習得し、読解力・語彙力・表現力を養いながら、ロシア語の初級中級文法を着実に自分のものにするのがこの授業の目的になります。 Fundamentals of Russian language
評価の方法・基準 (Evaluation)	原則、前期 (40%) と後期 (60%) の定期試験(100%)の結果で評価します。但し、試験結果に加えて、平常点(最大20%)を加減点することがあります。平常点とは授業での質疑応答における積極性や予習・復習・課題等の遂行における責任ある態度といった授業への参加態度、および前期試験と比較した際の後期試験での大幅な飛躍も加点の対象とします。
履修にあたっての注意 (Information about Classwork)	リレー講義です。
教科書(Textbook)	沼野恭子, 匹田剛, 前田和泉, イリーナ・ダフコワ著『大学のロシア語Ⅰー基礎力養成テキスト』(東京外国語大学出版会, ISBN978 - 4 - 904575 - 25 - 3) 前田和泉, イリーナ・ダフコワ 著『大学のロシア語Ⅱー実力が身につくワークブック』(東京外国語大学出版会, ISBN978 - 4 - 904575 - 34 - 5)

C. 学科基礎科目 (12単位)

学科基礎科目は各学科での学習の基礎となる科目のため、学習効果上1・2年次での履修が望ましいです。

英米学科

C	学科基礎科目 (英米学科)	英国史、英国の文化、米国史、米国の文化、英国の社会1・2、米国の社会1・2、 英語圏の文化と社会1・2、英文学史1・2、米文学史1・2、英語学概論1・2、英語研究入門1・2	12
---	------------------	---	----

ロシア学科

C	学科基礎科目 (ロシア学科)	ロシア文化史1・2、ロシアの社会1・2、ロシア地域論1・2・3・4、ロシア文学史1・2、ロシア史1・2、ロシア語学入門、 ロシア学入門、ロシア文化入門1・2	12
---	-------------------	---	----

中国学科

C	学科基礎科目 (中国学科)	中国文化論、中国社会論、中国経済論、中国の法と政治、現代中国論、中国地域論、中国歴史論、 中国文学史1・2、中国語学基礎論1・2、東洋思想1・2	12
---	------------------	---	----

イスパニア学科

C	学科基礎科目 (イスパニア学科)	イスパニア文化史1・2、中南米文化史1・2、イスパニアの社会1・2、中南米の社会1・2、中南米地域研究1・2、 イスパニア文学史1・2、ラテンアメリカ文学史1・2、イスパニア語学概論1・2、Preparación para el DELE (DELE対策演習) 1・2	12
---	---------------------	---	----

国際関係学科

C	学科基礎科目 (国際関係学科)	国際機構論、国際経済関係史、地球市民社会論1・2・3・4、国際関係学特別講義	8
---	--------------------	--	---

第2英米学科

C	学科基礎科目 (第2部英米学科)	英国史、英国の文化、米国史、米国の文化、英国の社会1・2、米国の社会1・2、 英語圏の文化と社会1・2、英文学史1・2、米文学史1・2、英語学概論1・2、英語研究入門1・2	12
---	---------------------	---	----

隔年開講科目？

部	単位数	旧カリ授業名	授業コード	新カリ科目区分	新カリ授業名	開講年
学部	2	英国史	11010100	学科基礎科目 (英米)	英国史	奇数年
学部	2	英国の文化	11010200	学科基礎科目 (英米)	英国の文化	奇数年
学部	2	米国史	11020100	学科基礎科目 (英米)	米国史	偶数年
学部	2	米国の文化	11020200	学科基礎科目 (英米)	米国の文化	偶数年
学部	2	英語圏の文化と社会1	11060100	学科基礎科目 (英米)	英語圏の文化と社会1	奇数年
学部	2	英語圏の文化と社会2	11060200	学科基礎科目 (英米)	英語圏の文化と社会2	奇数年
学部	2	英国の社会1	11080100	学科基礎科目 (英米)	英国の社会1	偶数年
学部	2	英国の社会2	11080200	学科基礎科目 (英米)	英国の社会2	偶数年
学部	2	米国の社会1	11090100	学科基礎科目 (英米)	米国の社会1	奇数年
学部	2	米国の社会2	11090200	学科基礎科目 (英米)	米国の社会2	奇数年
学部	2	英文学史1	30110100	学科基礎科目 (英米)	英文学史1	奇数年
学部	2	英文学史2	30110200	学科基礎科目 (英米)	英文学史2	奇数年
学部	2	米文学史1	30120100	学科基礎科目 (英米)	米文学史1	偶数年
学部	2	米文学史2	30120200	学科基礎科目 (英米)	米文学史2	偶数年
学部	2	英語学概論1	30140100	学科基礎科目 (英米)	英語学概論1	奇数年
学部	2	英語学概論2	30140200	学科基礎科目 (英米)	英語学概論2	偶数年

この表は2023年度時点の表です。
2025年度最新の表は、別途ダウンロードしてください。

学部						
学部						
学部						
学部						
学部	2	ロシア地域論1	12020100	学科基礎科目 (ロシア)	ロシア地域論1	奇数年
学部	2	ロシア地域論2	12020200	学科基礎科目 (ロシア)	ロシア地域論2	奇数年
学部	2	ロシア地域論3	12020300	学科基礎科目 (ロシア)	ロシア地域論3	偶数年
学部	2	ロシア地域論4	12020400	学科基礎科目 (ロシア)	ロシア地域論4	偶数年
学部	2	ロシア文学史1	30210100	学科基礎科目 (ロシア)	ロシア文学史1	偶数年
学部	2	ロシア文学史2	30210200	学科基礎科目 (ロシア)	ロシア文学史2	偶数年
学部	2	ロシア史1	30220100	学科基礎科目 (ロシア)	ロシア史1	偶数年
学部	2	ロシア史2	30220200	学科基礎科目 (ロシア)	ロシア史2	偶数年
学部	2	ロシア文化入門1	30260100	学科基礎科目 (ロシア)	ロシア文化入門1	偶数年
学部	2	ロシア文化入門2	30260200	学科基礎科目 (ロシア)	ロシア文化入門2	偶数年
学部	2	中国経済論	13020100	学科基礎科目 (中国)	中国経済論	偶数年
学部	2	東洋思想1	30340100	学科基礎科目 (中国)	東洋思想1	奇数年
学部	2	東洋思想2	30340200	学科基礎科目 (中国)	東洋思想2	奇数年
学部	2	中南米地域研究1	14020100	学科基礎科目 (イスパニア)	中南米地域研究1	偶数年
学部	2	中南米地域研究2	14020200	学科基礎科目 (イスパニア)	中南米地域研究2	奇数年

D. 全学共通科目

全学共通科目は、「人文領域」、「社会科学領域」、「自然・人間科学領域」の3領域に区分されており、卒業までに各領域から少なくとも1科目を修得する必要があります。

英米・ロシア・中国
イスパニア

全学共通科目	人文領域	宗教学入門, 哲学概論, 日本思想史, 仏教学, 倫理学入門, ジェンダー論入門, 社会学入門, アメリカ地域論, ヨーロッパ地域論入門, 西洋史, 東洋史入門, 日本史入門, 歴史学入門, 言語学入門, 日本語学概論1・2, 日本文学論入門, 日本文化入門, 近現代日本社会入門, 言語学基礎論1・2, 音声学1・2, 古典語(ラテン語)1・2, 海外派遣留学科目1・2・3・4, 海外協定校短期研修1・2, 中東欧研究入門1・2・3・4 [各半期1単位]	16
	社会科学領域	憲法1・2, 現代の法, 現代の政治, 地域経済と企業, 現代日本経済論1・2, 経済経営入門, 現代国際法政問題, 現代国際経済問題, 現代国際文化問題, インターンシップ(就業体験)1・2 [各半期1単位], 現代の企業経営, 国際ビジネス・コミュニケーション, ビジネスロシア語1・2, ビジネス中国語1・2, 商業イスパニア語1・2, 現代世界経済論1・2, 社会開発論, 社会人類学入門	
	自然・人間科学領域	自然の認識1・2, 東の科学, 西の科学, 数理の世界1・2, 情報科学概論1・2・3, 人権論, 人権教育, 環境と人間, 人間形成論入門, 社会心理学入門1・2, 臨床心理学入門1・2, 生涯教育論1・2, 児童英語教育, スポーツ方法1・2 [各半期1単位], 教育原理, 教育哲学, 教育史, 神戸・教育インターンシップ1・2・3 [各半期1単位], キャリアデザイン, ジャーナリズム論1, キャンパスライフ入門, データサイエンス入門	

必修科目!

国際関係

全学共通科目	人文領域	宗教学入門, 哲学概論, 日本思想史, 仏教学, 倫理学入門, ジェンダー論入門, 社会学入門, アメリカ地域論, ヨーロッパ地域論入門, 西洋史, 東洋史入門, 日本史入門, 歴史学入門, 言語学入門, 日本語学概論1・2, 日本文学論入門, 日本文化入門, 近現代日本社会入門, 言語学基礎論1・2, 音声学1・2, 古典語(ラテン語)1・2, 海外派遣留学科目1・2・3・4, 海外協定校短期研修1・2, 中東欧研究入門1・2・3・4 [各半期1単位]	12
	社会科学領域	憲法1・2, 現代の法, 現代の政治, 地域経済と企業, 現代日本経済論1・2, 経済経営入門, 現代国際法政問題, 現代国際経済問題, 現代国際文化問題, インターンシップ(就業体験)1・2 [各半期1単位], 現代の企業経営, 国際ビジネス・コミュニケーション, ビジネスロシア語1・2, ビジネス中国語1・2, 商業イスパニア語1・2, 現代世界経済論1・2, 社会開発論, 社会人類学入門	
	自然・人間科学領域	自然の認識1・2, 東の科学, 西の科学, 数理の世界1・2, 情報科学概論1・2・3, 人権論, 人権教育, 環境と人間, 人間形成論入門, 社会心理学入門1・2, 臨床心理学入門1・2, 生涯教育論1・2, 児童英語教育, スポーツ方法1・2 [各半期1単位], 教育原理, 教育哲学, 教育史, 神戸・教育インターンシップ1・2・3 [各半期1単位], キャリアデザイン, ジャーナリズム論1, キャンパスライフ入門, データサイエンス入門	

第2部英米学科

D. 全学共通科目 (12単位)

全学共通科目は、「人文領域」、「社会科学領域」、「自然・人間科学領域」の3領域に区分されており、卒業までには各領域から少なくとも1科目を修得する必要があります。

D	全学共通科目	人文領域	宗教学入門、宗教学基礎論、哲学概論、日本思想史、西洋哲学史、ジェンダー論入門、社会学入門、社会学、ヨーロッパ地域論入門、ヨーロッパ地域論、文化人類学1・2、アジア言語文化の諸問題、西洋史、日本史入門、日本史、歴史学入門、言語学入門、日本語学概論1・2、日本語の文法、日本語の形と意味、日本語の音声、日本語の多様性、日本文学論入門、日本文学論、日本文化入門、近現代日本社会入門、日本文化入門「第3」1・2、言語学基礎論1・2、言語類型論、歴史言語学、音声学1・2、古典語(ギリシャ語)1・2、古典語(ラテン語)1・2、日本語教育の基礎、外国人学習者の観点から見た日本語、海外派遣留学科目1・2・3・4、海外協定校短期研修1・2、	12
		社会科学領域	憲法1・2、現代の法、現代の政治、現代の経済、現代日本経済論1・2、ミクロ経済学1・2、マクロ経済学1・2、刑事法、経済経営入門、簿記原理、日本と世界1・2、インターンシップ(就業体験)1・2〔各半期1単位〕	
		自然・人間科学領域	自然の認識1・2、数理の世界1・2、統計学1・2、情報科学概論1・2・3、人権論、人権教育、人間形成論入門、人間形成論、社会心理学入門1・2、臨床心理学入門1・2、児童英語教育、スポーツ文化論1・2、スポーツ方法1・2〔半期1単位〕、教育原理、教育哲学、教育史、ジャーナリズム論1・2、図書館情報資源概論、生涯学習概論、図書館概論、図書・図書館史、神戸・教育インターンシップ1・2・3〔各半期1単位〕、 キャンパスライフ入門、データサイエンス入門	

必修科目！

コース科目 ＜英米 ・ロシア ・中国 ・イスパニア＞

選択科目

E

コース科目

		全てのコース 科目として 設定される	横断関連 [コース科目への認定は1回限り。2回目以降は自由選択単位となる。]	
	語学 文学	基礎 イ イ イ イ	英米文学・文化研究入門、英米文学と視覚文化、英米文学と社会、比較文学、現代の思想と文化、英語史1・2、	20
		発展 ヨ ヨ ヨ	放送通訳、会議通訳(同時)、小学校英語教育論演習	
	国際 法政	基礎	民法1・2、政治学1・2、国際政治学1・2、比較政治1・2、国際法「基本」1・2、国際政治経済学、アジア国際関係史1・2、アメリカ政治1、中国法政論、社会学、ロシアの社会2、移民社会論、統計学1・2、文化と政治、ロシア政治経済論1・2	20
		発展	民法3・4・5、行政法1・2、国際取引法1・2、法政特論1・2、途上国地域社会論1・2、国際紛争処理法、国際法「発展」1・2、国際私法1・2、ヨーロッパ政治1・2、アフリカ政治1・2、アメリカ政治2、移民社会論演習、ゲーム理論、比較地域研究1・2、東南アジア地域論：政治、商法1・2、労働法、東南アジア地域論特設講義：政治	
	経済 経営	基礎	ミクロ経済学1・2、マクロ経済学1・2、簿記原理、経営学1・2、特許研究、近代世界システム成立史、統計学1・2、ロシア政治経済論1・2	20
		発展	国際経営論1・2、ミクロ経済政策1・2、マクロ経済政策1・2、産業組織の経済学1・2、経営学演習1・2、経済学特設講義1・2、経営学特設講義1・2、会計学1・2、マーケティング論1・2、国際商務論1・2、商業英語1・2、国際金融論1・2、国際貿易論、貿易政策論、開発経済論1・2、多国企業論1・2、金融論1・2、財政学1・2、公共政策、労働経済、計量経済学1・2、商法1・2、労働法、ゲーム理論、東南アジア地域論：経済、東南アジア地域論特設講義：経済	
	多文化 共生	基礎	宗教と社会の共生、ヨーロッパ地域論、移民社会論、朝鮮文化論1、外国人学習者の観点から見た日本語、日本語の形と意味、日本語の多様性、民族誌学1、近現代日本社会、アジアの文化と社会の共生1・2、アジア言語文化の諸問題、フランスの思想と社会1、出版と編集1、コミュニケーション学概論、コミュニケーション理論、言語と国家、社会人類学、コミュニケーション論、異文化間コミュニケーション論、英米文学特設講義(現代社会)1・2、英語学特設講義(現代社会)1・2・3・4、比較文化論1、バリアフリー論、日本手話、ロシア文化特設講義1、中国文化特設講義1、ラテンアメリカ文化特設講義1・2、社会調査分析1・2、文化と政治	20
		発展	フランスの社会、朝鮮文化論2、民族誌学2、日本語の談話研究、日本語変異の研究、近現代日本社会研究1・2、言語文化の多様性とアジア1・2、フランスの思想と社会2、出版と編集2、コミュニケーション研究、言語と文化、社会人類学研究、比較文化論2、ジェンダー共生論演習、社会共生論演習、プロジェクト演習、東南アジアの社会と文化、比較地域研究1・2、東南アジア地域論：経済、東南アジア地域論：政治、東南アジア地域論特設講義：経済、東南アジア地域論特設講義：政治、ロシア文化特設講義2、中国文化特設講義2、移民社会論演習	
	イベル アープ	基礎	宗教学基礎論、西洋哲学史、倫理学、フランス文化論1、ヨーロッパ文化史1、ヨーロッパ文化論1、ヨーロッパ文学論、東洋史、日本史、日本文学論、言語類型論、歴史言語学、古典語(ギリシャ語)1・2、日本語教育の基礎、人間形成論、日本語の文法、日本語の音声、日本の文化、西洋古典学1、哲学、自然科学(基礎)1・2、人間関係論1・2、スポーツ文化論1・2、中欧文化史1、ヨーロッパにおけるドイツ1、フランス文学論1、ジェンダー論、文化芸術論1、社会学、小学校英語教育論、社会調査分析1・2	20
		発展	フランス文化論2、ヨーロッパ文化史2、ヨーロッパ文化論2、日本文化の諸相1・2、言語学研究1・2、小学校英語教育論演習、社会言語学、西洋古典学2、西洋史研究、アジア言語文化1・2、歴史学特設講義、自然科学(発展)1・2、スポーツ文化論演習「第1」1・2、スポーツ文化論演習「第2」1・2、一般言語学から見た日本語、日本語の統語論的研究、日本語の意味・機能研究、日本語音声・音韻の研究、日本文化研究1・2、アジア言語学1・2、哲学特設講義1・2、中欧文化史2、ヨーロッパにおけるドイツ2、フランス文学論2、社会心理学演習1・2、臨床心理学演習1・2、現代文明論、文化芸術論2	

各学科の語学文学コース科目

コース科目 ＜国際関係＞

選択科目

E	国際法政	全てのコースでコース科目(主専攻)として認定される	模擬国連 [コース科目への認定は1回限り。2回目以降は自由選択単位となる。]
		基礎	民法1・2, 政治学1・2, 国際政治学1・2, 比較政治1・2, 国際法「基本」1・2, 国際政治経済学, アジア国際関係史1・2, アメリカ政治1, 中国法政論, <u>社会学</u> , ロシアの社会2, <u>ロシア政治経済論1・2</u> , <u>移民社会論</u> , <u>統計学1・2</u> , <u>文化と政治</u>
	発展	民法3・4・5, 行政法1・2, 国際取引法1・2, 法政特論1・2, 途上国地域社会論1・2, 国際紛争処理法, 国際法「発展」1・2, 国際私法1・2, ヨーロッパ政治1・2, アフリカ政治1・2, アメリカ政治2, <u>移民社会論演習</u> , <u>ゲーム理論</u> , <u>比較地域研究1・2</u> , <u>東南アジア地域論：政治</u> , <u>商法1・2</u> , <u>労働法</u> , <u>東南アジア地域論特殊講義：政治</u>	
	経済経営	基礎	ミクロ経済学1・2, マクロ経済学1・2, 簿記原理, 経営学1・2, 神戸研究, 近代世界システム成立史, <u>統計学1・2</u> , <u>ロシア政治経済論1・2</u>
		発展	国際経営論1・2, ミクロ経済政策1・2, マクロ経済政策1・2, 産業組織の経済学1・2, 経済学演習1・2, 経済学特殊講義1・2, 経営学特殊講義1・2, 会計学1・2, マーケティング論1・2, 国際商務論1・2, 商業英語1・2, 国際金融論1・2, 国際貿易論, 貿易政策論, 開発経済論1・2, 多国籍企業論1・2, 金融論1・2, 財政学1・2, 公共政策, 労働経済, 計量経済学1・2, <u>商法1・2</u> , <u>労働法</u> , <u>ゲーム理論</u> , <u>東南アジア地域論：経済</u> , <u>東南アジア地域論特殊講義：経済</u>
	多文化共生	基礎	宗教と社会の共生, ヨーロッパ地域論, 朝鮮文化論1, 外国人学習者の観点から見た日本語, 日本語の形と意味, 日本語の多様性, 民族誌学1, 近現代日本社会, アジアの文化と社会の共生1・2, アジア言語文化の諸問題, フランスの思想と社会1, 出版と編集1, コミュニケーション学概論, コミュニケーション理論, 言語と国家, 社会人類学, コミュニケーション論, 異文化間コミュニケーション論, 英米文学特殊講義(現代社会)1・2, 英語学特殊講義(現代社会)1・2・3・4, 比較文化論1, バリアフリー論, 日本手話, ロシア文化特殊講義1, 中国文化特殊講義1, <u>ラテンアメリカ文化特殊講義1・2</u> , <u>移民社会論</u> , <u>社会調査分析1・2</u> , <u>文化と政治</u>
		発展	フランスの社会, 朝鮮文化論2, 民族誌学2, 日本語の談話研究, 日本語変異の研究, 近現代日本社会研究1・2, 言語文化の多様性とアジア1・2, フランスの思想と社会2, 出版と編集2, コミュニケーション研究, 言語と文化, 社会人類学研究, 比較文化論2, ジェンダー共生論演習, 社会共生論演習, プロジェクト演習, 東南アジアの社会と文化, <u>比較地域研究1・2</u> , <u>東南アジア地域論：経済</u> , <u>東南アジア地域論：政治</u> , <u>東南アジア地域論特殊講義：経済</u> , <u>東南アジア地域論特殊講義：政治</u> , <u>ロシア文化特殊講義2</u> , <u>中国文化特殊講義2</u> , <u>移民社会論演習</u>
	リベラルアーツ	基礎	宗教学基礎論, 西洋哲学史, 倫理学, フランス文化論1, ヨーロッパ文化史1, ヨーロッパ文化論1, ヨーロッパ文学論, 東洋史, 日本史, 日本文学論, 言語類型論, 歴史言語学, 古典語(ギリシャ語)1・2, 日本語教育の基礎, 人間形成論, 日本語の文法, 日本語の音声, 日本の文化, 西洋古典学1, 哲学, 自然科学(基礎)1・2, 人間関係論1・2, スポーツ文化論1・2, 中欧文化史1, ヨーロッパにおけるドイツ1, フランス文学論1, ジェンダー論, 文化芸術論1, <u>社会学</u> , <u>小学校英語教育論</u> , <u>社会調査分析1・2</u>
発展		フランス文化論2, ヨーロッパ文化史2, ヨーロッパ文化論2, 日本文化の諸相1・2, 言語学研究1・2, 小学校英語教育論演習, 社会言語学, 西洋古典学2, 西洋史研究, アジア言語文化1・2, 歴史学特殊講義, 自然科学(発展)1・2, <u>スポーツ文化論演習「第1」1・2</u> , <u>スポーツ文化論演習「第2」1・2</u> , 一般言語学から見た日本語, 日本語の統語論的研究, 日本語の意味・機能研究, 日本語音声・音韻の研究, 日本文化研究1・2, アジア言語学1・2, 哲学特殊講義1・2, 中欧文化史2, ヨーロッパにおけるドイツ2, フランス文学論2, 社会心理学演習1・2, 臨床心理学演習1・2, 現代文明論, 文化芸術論2	

主専攻28・副専攻20

コース科目 ＜第2部英米＞

E. コース科目 (20単位)

- (1) 3年次から所属するコースのコース科目を20単位修得する必要があります。
- (2) 1・2年次で「コース科目」を履修する場合、3年次で異なるコースを選択すると、その単位は「コース科目」ではなく「自由選択単位」として卒業必要単位に算入されます。

E	コース科目	英語学・英語研究	英語学特殊講義、音声学・音韻論講義、敬語論講義、意味論講義、語用論・談話分析講義、応用言語学1・2、構文研究、語法文法研究、英語学研究演習1・2、パブリック・スピーチ、リスニング分析1・2、英語教育学演習、社会言語学、メディア英語演習1・2、通訳演習1・2、英語史1・2	20
		英語圏文化文学	英米文学特殊講義、イギリス文学特殊講義、アメリカ文学特殊講義、英語圏文学特殊講義、英詩・演劇特殊講義、英米文学・文化研究入門、英米文学と視覚文化、英米文学と社会、比較文学、英米文化特殊講義、現代の思想と文化、イギリス文学研究演習1・2、アメリカ文学研究演習1・2、英語圏文学研究演習、英米文化研究演習、Advanced Writing1・2、文学翻訳演習、西洋史研究、比較地域研究1・2	20
		法経商	民法1・2・3・4・5、商法1・2・3・4、行政法1・2、労働法、新民法1・2、英米法1・2、国際取引法1・2、政治学1・2、比較政治1・2、法政特論1・2、ミクロ経済政策1・2、マクロ経済政策1・2、国際貿易論、貿易政策論、産業組織の経済学1・2、計量経済学1・2、経済学特殊講義1・2、アメリカ経済論、経営学1・2、経営学特殊講義1・2、会計学1・2、国際商標論1・2、商業英語1・2、国際金融論1・2、国際法「基本」1・2、アメリカ政治1・2、ゲーム理論	20

コース制度？

5 コース制度

本学では、伝統ある語学教育に支えられた高いコミュニケーション能力と、専門教育により培われた確かな洞察力、その両方を兼ね備えた人材ー2つの武器を持つ人材ーを養成するため、専門教育については「コース制度」を設けています。

1年次前期（第2部英米学科の学生は2年次前期）に「コース説明会」を実施しますので、必ず参加し、どのコースを選択するか慎重に検討してください。下記のとおり所定の時期にコースを選択し、2年次秋頃に、選択したコースの研究指導（ゼミ）を選びます。研究指導を選ぶ際には選考があり、必ず第一希望の研究指導に入れるわけではありません。

コースの選択については、コース説明会の案内がありますので、GAIDAI PASSの掲示を確認し、必ず出席してください。

(1) コース選択

所属学科	選択できるコース
英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科	語学文学コース
	国際法政コース
	経済経営コース
	多文化共生コース
	リベラルアーツコース
国際関係学科	国際法政コース
	経済経営コース
	多文化共生コース
	リベラルアーツコース
第2部英米学科	英語学・英語研究コース
	英語圏文化文学コース
	法経商コース

【英米・ロシア・中国・イスパニア学科】

2年次に進級する際に、語学文学コース、国際法政コース、経済経営コース、多文化共生コース、リベラルアーツコースのいずれかの1つのコースを選択します。

英米
ロシア
中国
イスパニア

E. コース科目 (20単位)

- (1) 2年次から所属するコースのコース科目を20単位修得する必要があります。
- (2) 1年次で「コース科目」を履修する場合、2年次で異なるコースを選択すると、その単位は「コース科目」ではなく「自由選択単位」として卒業必要単位に算入されます。

E	コース科目	選定科目	全てのコースでコース科目として認定される	模擬国連 〔コース科目への認定は1回限り。2回目以降は自由選択単位となる。〕	
			語学 文学	基礎 英米文学・文化研究入門、英米文学と視覚文化、英米文学と社会、比較文学、現代の思想と文化、英語史1・2、 音声学・音韻論講義、統語論講義、意味論講義、語用論・統語分析講義、応用英語学1・2、構文研究、語法文法研究、 文学翻訳演習、通訳演習1・2、メディア英語演習1・2、リスニング分析1・2、オーラル・プレゼンテーション1、通訳(基礎)、 会議通訳(逐次)、翻訳、パブリック・スピーチ、映画研究、翻訳理論、メディア論、英語学特許講義(現代社会)1・2・3・ 社会英語学、小学校英語教育論	20
			発展 英米文学特許講義、イギリス文学特許講義、アメリカ文学特許講義、英語圏文学特許講義、英詩・演劇特許講義、 英米文化特許講義、英語学特許講義、イギリス文学研究演習1・2、アメリカ文学研究演習1・2、英語圏文学研究演習、 英米文化研究演習、Advanced Writing1・2、英語学研究演習1・2、英語教育学演習、オーラル・プレゼンテーション2、 放送通訳、会議通訳(同時)、小学校英語教育論演習		
			国際 法政	基礎 民法1・2、政治学1・2、国際政治学1・2、比較政治1・2、国際法「基本」1・2、国際政治経済学、アジア国際関係史1・2 アメリカ政治1、中国法政論、社会学、ロシアの社会2、福祉社会論、統計学1・2、文化と政治、ロシア政治経済論1・2	20
			発展 民法3・4・5、行政法1・2、国際取引法1・2、法政特論1・2、途上国地域社会論1・2、国際紛争処理法、 国際法「発展」1・2、国際私法1・2、ヨーロッパ政治1・2、アフリカ政治1・2、アメリカ政治2、福祉社会論演習、 ゲーム理論、比較地域研究1・2、東南アジア地域論・政治、商法1・2、労働法、東南アジア地域論特許講義：政治		
			経済 経営	基礎 ミクロ経済学1・2、マクロ経済学1・2、簿記原理、経営学1・2、神戸研究、近代世界システム成立史、統計学1・2、 ロシア政治経済論1・2	
			発展 国際経営論1・2、ミクロ経済政策1・2、マクロ経済政策1・2、産業組織の経済学1・2、経営学演習1・2、 経営学特許講義1・2、経営学特許講義1・2、会計学1・2、マーケティング論1・2、国際商標論1・2、商業英語1・2、 国際金融論1・2、国際貿易論、貿易政策論、開発経済論1・2、多国論企業論1・2、金融論1・2、財政学1・2、公共政策、 労働経済、計量経済学1・2、商法1・2、労働法、ゲーム理論、東南アジア地域論：経済、東南アジア地域論特許講義：経済	20	
			多文化 共生	基礎 宗教と社会の共生、ヨーロッパ地域論、福祉社会論、朝鮮文化論1、外国人学習者の観点から見た日本語、日本語の形と意味、 日本語の多様性、民族誌学1、近現代日本社会、アジアの文化と社会の共生1・2、アジア言語文化の諸問題、フランスの思想と社会1、 出版と編集1、コミュニケーション学概論、コミュニケーション論、言語と国家、社会人類学、コミュニケーション論、 異文化間コミュニケーション論、英米文学特許講義(現代社会)1・2、英語学特許講義(現代社会)1・2・3・4、比較文化論1、 バリアフリー論、日本手話、ロシア文化特許講義1、中国文化特許講義1、ラテンアメリカ文化特許講義1・2、社会調査分析1・2 文化と政治	20
			発展 フランスの社会、朝鮮文化論2、民族誌学2、日本語の統語研究、日本語変異の研究、近現代日本社会研究1・2、 言語文化の多様性とアジア1・2、フランスの思想と社会2、出版と編集2、コミュニケーション研究、言語と文化、 社会人類学研究、比較文化論2、ジェンダー共生論演習、社会共生論演習、プロジェクト演習、東南アジアの社会と文化、 比較地域研究1・2、東南アジア地域論：経済、東南アジア地域論：政治、東南アジア地域論特許講義：経済、 東南アジア地域論特許講義：政治、ロシア文化特許講義2、中国文化特許講義2、福祉社会論演習		
			リベラル アーツ	基礎 宗教学基礎論、西洋哲学史、倫理学、フランス文化論1、ヨーロッパ文化史1、ヨーロッパ文化論1、ヨーロッパ文学論、東洋史、 日本史、日本文学論、言語学概論、歴史言語学、古典語(ギリシャ語)1・2、日本語教育の基礎、人間形成論、日本語の文法、 日本語の音声、日本の文化、西洋古典学1、哲学、自然科学(基礎)1・2、人間関係論1・2、スポーツ文化論1・2、 中欧文化史1、ヨーロッパにおけるドイツ1、フランス文学論1、ジェンダー論、文化芸術論1、社会学、小学校英語教育論、 社会調査分析1・2	
			発展 フランス文化論2、ヨーロッパ文化史2、ヨーロッパ文化論2、日本文化の概観1・2、言語学研究1・2、小学校英語教育論演習、 社会英語学、西洋古典学2、西洋史研究、アジア言語文化1・2、歴史学特許講義、自然科学(発展)1・2、 スポーツ文化論演習「第1」1・2、スポーツ文化論演習「第2」1・2、一般英語学から見た日本語、日本語の統語論的研究、 日本語の意味・機能研究、日本語音声・音韻の研究、日本文化研究1・2、アジア言語学1・2、哲学特許講義1・2、 中欧文化史2、ヨーロッパにおけるドイツ2、フランス文学論2、社会心理学演習1・2、臨床心理学演習1・2、現代文明論、 文化芸術論2	20	

所属するコースから20単位
を修得。

ただし、コースが決まるの
は2年生。

E. コース科目（主専攻28単位、副専攻20単位）

- (1) 2年次から所属するコースのコース科目を計48単位（主専攻28単位、副専攻20単位）修得する必要があります。
- (2) 1年次で「コース科目」を履修する場合、2年次で異なるコースを選択すると、その単位は「コース科目」ではなく「自由選択単位」として卒業必要単位数に算入されます。

選択科目	E	コース科目	全てのコースでコース科目(主専攻)として認定される	模擬国連 [コース科目への認定は1回限り。2回目以降は自由選択単位となる。]	
			国際法政	基礎	民法1・2, 政治学1・2, 国際政治学1・2, 比較政治1・2, 国際法「基本」1・2, 国際政治経済学, アジア国際関係史1・2, アメリカ政治1, 中国法政論, 社会学, ロシアの社会2, ロシア政治経済論1・2, 移民社会論, 統計学1・2, 文化と政治
				発展	民法3・4・5, 行政法1・2, 国際取引法1・2, 法政特論1・2, 途上国地域社会論1・2, 国際紛争処理法, 国際法「発展」1・2, 国際私法1・2, ヨーロッパ政治1・2, アフリカ政治1・2, アメリカ政治2, 移民社会論演習, ゲーム理論, 比較地域研究1・2, 東南アジア地域論:政治, 商法1・2, 労働法, 東南アジア地域論特殊講義:政治
			経済経営	基礎	ミクロ経済学1・2, マクロ経済学1・2, 簿記原理, 経営学1・2, 神戸研究, 近代世界システム成立史, 統計学1・2, ロシア政治経済論1・2
				発展	国際経営論1・2, ミクロ経済政策1・2, マクロ経済政策1・2, 産業組織の経済学1・2, 経済学演習1・2, 経済学特殊講義1・2, 経営学特殊講義1・2, 会計学1・2, マーケティング論1・2, 国際商務論1・2, 商業英語1・2, 国際金融論1・2, 国際貿易論, 貿易政策論, 開発経済論1・2, 多国結企業論1・2, 金融論1・2, 財政学1・2, 公共政策, 労働経済, 計量経済学1・2, 商法1・2, 労働法, ゲーム理論, 東南アジア地域論:経済, 東南アジア地域論特殊講義:経済
			多文化共生	基礎	宗教と社会の共生, ヨーロッパ地域論, 朝鮮文化論1, 外国人学習者の観点から見た日本語, 日本語の形と意味, 日本語の多様性, 民族誌学1, 近現代日本社会, アジアの文化と社会の共生1・2, アジア言語文化の諸問題, フランスの思想と社会1, 出版と編集1, コミュニケーション学概論, コミュニケーション理論, 言語と国家, 社会人類学, コミュニケーション論, 異文化間コミュニケーション論, 英米文学特殊講義(現代社会)1・2, 英語学特殊講義(現代社会)1・2・3・4, 比較文化論1, バリアフリー論, 日本手話, ロシア文化特殊講義1, 中国文化特殊講義1, ラテンアメリカ文化特殊講義1・2, 移民社会論, 社会調査分析1・2, 文化と政治
				発展	フランスの社会, 朝鮮文化論2, 民族誌学2, 日本語の談話研究, 日本語変異の研究, 近現代日本社会研究1・2, 言語文化の多様性とアジア1・2, フランスの思想と社会2, 出版と編集2, コミュニケーション研究, 言語と文化, 社会人類学研究, 比較文化論2, ジェンダー共生論演習, 社会共生論演習, プロジェクト演習, 東南アジアの社会と文化, 比較地域研究1・2, 東南アジア地域論:経済, 東南アジア地域論:政治, 東南アジア地域論特殊講義:経済, 東南アジア地域論特殊講義:政治, ロシア文化特殊講義2, 中国文化特殊講義2, 移民社会論演習
			リベラルアーツ	基礎	宗教学基礎論, 西洋哲学史, 倫理学, フランス文化論1, ヨーロッパ文化史1, ヨーロッパ文化論1, ヨーロッパ文学論, 東洋史, 日本史, 日本文学論, 言語類型論, 歴史言語学, 古典語(ギリシャ語)1・2, 日本語教育の基礎, 人間形成論, 日本語の文法, 日本語の音声, 日本の文化, 西洋古典学1, 哲学, 自然科学(基礎)1・2, 人間関係論1・2, スポーツ文化論1・2, 中欧文化史1, ヨーロッパにおけるドイツ1, フランス文学論1, ジェンダー論, 文化芸術論1, 社会学, 小学校英語教育論, 社会調査分析1・2
				発展	フランス文化論2, ヨーロッパ文化史2, ヨーロッパ文化論2, 日本文化の諸相1・2, 言語学研究1・2, 小学校英語教育論演習, 社会言語学, 西洋古典学2, 西洋史研究, アジア言語文化1・2, 歴史学特殊講義, 自然科学(発展)1・2, スポーツ文化論演習「第1」1・2, スポーツ文化論演習「第2」1・2, 一般言語学から見た日本語, 日本語の統語論的研究, 日本語の意味・機能研究, 日本語音声・音韻の研究, 日本文化研究1・2, アジア言語学1・2, 哲学特殊講義1・2, 中欧文化史2, ヨーロッパにおけるドイツ2, フランス文学論2, 社会心理学演習1・2, 臨床心理学演習1・2, 現代文明論, 文化芸術論2

所属する主専攻から28単位
副専攻から20単位を修得。

ただし、コースが決まるのは2年生。

主専攻28・副専攻20

国際関係

国際法政	基礎	民法1・2, 政治学1・2, 国際政治学1・2, 比較政治1・2, 国際法「基本」1・2, 国際政治経済学, アジア国際関係史1・2, アメリカ政治1, 中国法政論, 社会学 , ロシアの社会2, ロシア政治経済論1・2, 移民社会論, 統計学1・2, 文化と政治
	発展	民法3・4・5, 行政法1・2, 国際取引法1・2, 法政特論1・2, 途上国地域社会論1・2, 国際紛争処理法, 国際法「発展」1・2, 国際私法1・2, ヨーロッパ政治1・2, アフリカ政治1・2, アメリカ政治2, 移民社会論演習, ゲーム理論, 比較地域研究1・2, 東南アジア地域論:政治, 商法1・2, 労働法, 東南アジア地域論特殊講義:政治

科目名	本籍	共通	科目名	本籍	共通
社会学	リベラルアーツ	国際法政	労働法	国際法政	経済経営
移民社会論	多文化共生	国際法政	東南アジア地域論:経済	経済経営	多文化共生
統計学1・2	経済経営	国際法政	東南アジア地域論:政治	国際法政	多文化共生
文化と政治	多文化共生	国際法政	東南アジア地域論特殊講義:経済	経済経営	多文化共生
比較地域研究1・2	多文化共生	国際法政	東南アジア地域論特殊講義:政治	国際法政	多文化共生
ゲーム理論	経済経営	国際法政	社会調査分析1・2	多文化共生	リベラルアーツ
商法1・2	国際法政	経済経営	移民社会論演習	多文化共生	国際法政
ロシア政治経済論1・2	国際法政	経済経営			

- ・開講されているコースを選択している場合（主専攻・副専攻）、その科目を履修した際に、コース科目として認定されます。
- ・この科目を履修した場合、主専攻・副専攻の組み合わせによって、認定されるコースや科目区分が異なりますので、注意してください。詳しくは次の表で確認してください。

主専攻・副専攻との関係は下記のとおりです。
 (例)「商法1」(本:国際法政(発展)、共:経済経営(発展))の場合

学生の専攻	学生の副専攻	認定されるコース	学生の専攻	学生の副専攻	認定されるコース
国際法政	経済経営	国際法政	多文化共生	国際法政	国際法政
	多文化共生	国際法政		経済経営	経済経営
	リベラルアーツ	国際法政		リベラルアーツ	自由選択
経済経営	国際法政	国際法政	リベラルアーツ	国際法政	国際法政
	多文化共生	経済経営		経済経営	経済経営
	リベラルアーツ	経済経営		多文化共生	自由選択

第2部英米

E. コース科目 (20単位)

- (1) 3年次から所属するコースのコース科目を20単位修得する必要があります。
- (2) 1・2年次で「コース科目」を履修する場合、3年次で異なるコースを選択すると、その単位は「コース科目」ではなく「自由選択単位」として卒業必要単位に算入されます。

E	コース科目	英語学・英語研究	英語学特殊講義、音声学・音韻論講義、統語論講義、意味論講義、語用論・統語分析講義、応用言語学1・2、構文研究、語法文法研究、英語学研究演習1・2、パブリック・スピーチ、リスニング分析1・2、英語教育学演習、社会言語学、メディア英語演習1・2、通訳演習1・2、英語史1・2	20
		英語圏文化文学	英米文学特殊講義、イギリス文学特殊講義、アメリカ文学特殊講義、英語圏文学特殊講義、英詩・演劇特殊講義、英米文学・文化研究入門、英米文学と視覚文化、英米文学と社会、比較文学、英米文化特殊講義、現代の思想と文化、イギリス文学研究演習1・2、アメリカ文学研究演習1・2、英語圏文学研究演習、英米文化研究演習、Advanced Writing1・2、文学翻訳演習、西洋史研究、比較地域研究1・2	20
		法経済	民法1・2・3・4・5、商法1・2・3・4、行政法1・2、労働法、経済法1・2、英米法1・2、国際取引法1・2、政治学1・2、比較政治1・2、法政特論1・2、ミクロ経済政策1・2、マクロ経済政策1・2、国際貿易論、貿易政策論、産業組織の経済学1・2、計量経済学1・2、経済学特殊講義1・2、アメリカ経済論、経営学1・2、経営学特殊講義1・2、会計学1・2、国際商務論1・2、商業英語1・2、国際金融論1・2、国際法「基本」1・2、アメリカ政治1・2、ゲーム理論	20

所属するコースから20単位を修得。

ただし、コースが決まるのは3年生。

F. 研究指導・卒業論文（16単位）

(1) 研究指導

- ・ 2年次に各々選択したコースで開講される研究指導を選択します。
- ・ 研究指導は必修科目であり、3・4年継続履修を原則とします。
- ・ 研究指導の担当教員は2年次後期に選考のうえ決定します。詳細は教務入試班よりお知らせします。

(2) 卒業論文

- ・ 卒業予定年次に卒業論文を提出し、審査に合格すれば8単位が与えられ、卒業必要単位に算入されます。

国際
関係
以外

- ・ 卒業論文を提出しない場合、所属コースのコース科目を8単位（コース科目は合計28単位となる）修得することが必要です。

国際関係のみ

- ・ 卒業論文を提出しない場合、所属コースのコース科目を8単位（コース科目は合計56単位となる）修得することが必要です。

- ・ 卒業論文の審査に合格した者で、卒業が次年度以降となった場合は卒業論文を再提出する必要はありません。

F	研究指導、 卒業論文	研究指導〔必修〕〔通年4単位〕〔通年4単位〕、 卒業論文〔半期8単位〕 〔卒業論文は自由選択。卒業論文により8単位が取得できない場合は、所属コースのコース科目からこれに代えて8単位取得しなければなりません。〕	16
---	---------------	---	----

各学科の必要単位数

	英米・ロシア・中国 ・イスパニア	国際関係	第2部英米
専攻語学	44 単位	24 単位	40 単位
兼修語学	8 単位	8 単位	8 単位
学科基礎科目	12 単位	8 単位	12 単位
全学共通科目	16 単位	12 単位	12 単位
コース科目	20 単位	48 単位	20 単位
研究指導・卒業論文	16 単位	16 単位	16 単位
計	116 単位	116 単位	108 単位
自由選択	8 単位	8 単位	16 単位

学部

G. 自由選択単位（8単位）

以下に定める科目の単位を修得した場合は、原則として自由選択単位として卒業必要単位に算入します。

- ①属する学科／コースで卒業必要単位を超えて修得した単位
- ②他学科／他コース科目
- ③単位互換講座科目[大学コンソーシアムひょうご神戸 etc.]
- ④課程科目
- ⑤その他

G	自由選択単位	属する学科の必修科目及び選択科目の卒業必要単位数を超えて取得した単位および自由選択語学で取得した単位 属する学科以外の選択科目、単位互換講座科目および課程科目で取得した単位	8
---	--------	---	---

2部英米

G. 自由選択単位（16単位）

以下に定める科目の単位を修得した場合は、原則として自由選択単位として卒業必要単位に算入します。

- ①属する学科／コースで卒業必要単位を超えて修得した単位
- ②他学科／他コース科目
- ③単位互換講座科目 [大学コンソーシアムひょうご神戸 etc.]
- ④課程科目
- ⑤その他

G	自由選択単位	属する学科の必修科目及び選択科目の卒業必要単位数を超えて取得した単位および自由選択語学で取得した単位 属する学科以外の選択科目、単位互換講座科目および課程科目で取得した単位	16
---	--------	---	----

単位互換講座 科目？

大学コンソー シアムひょう ご神戸？

11 単位認定

(1) 単位認定の種類

- ・単位互換講座
- ・新1年生の入学時既修得単位
- ・編入学
- ・転部
- ・留学

(2) 単位互換講座

【大学コンソーシアムひょうご神戸】

① 概要

「大学コンソーシアムひょうご神戸」に加盟している大学間で、各大学の立地や特性を活かした魅力ある科目を提供し、単位互換を行っています。

② 本学で認定する単位

「自由選択単位」として卒業必要単位に算入されます。

【神戸高专との科目相互開放】

① 概要

同一法人下の神戸市立工業高等専門学校の一部が本学学生へ特別開放されています。

② 本学で認定する単位

「自由選択単位」として卒業必要単位に算入されます。

※科目によっては、単位認定がされない聴講科目となる場合があります。

13 教育職員免許状の取得

教育職員免許状（以下、「教員免許状」）を取得しようとする学生は、「教育職員養成課程（以下、「教職課程」）の履修に関する規則」に基づいて必要な科目を修得してください。

(1) 資格登録

教職課程を履修するためには説明会に出席し、教職課程の資格登録をすることが必要です。資格登録がされていなければ「教育職員養成課程の履修に関する規則」に定める「教育の基礎的理解に関する科目」、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」、「教育実践に関する科目」及び「各教科の指導法」の履修登録ができません。

16 司書課程の履修

(1) 趣旨

外国語の能力に優れた図書館のスペシャリストを養成し、本学学生が一層幅広く社会で活躍することを願い、司書課程が設置されています。

(2) 司書課程科目

卒業に必要な単位に加え、「司書課程に関する履修規則」に定められた司書課程科目15科目26単位全てを修得すれば、図書館法第5条に定められている司書の資格が与えられます。

(3) 司書課程の履修

司書課程を履修するためには司書課程の資格登録をすることが必要です。資格登録がされていなければ、司書課程科目の履修登録はできません。司書課程を履修しようとする学生は、4月に「履修説明会」がありますので、必ず参加してください。司書課程科目は3・4年生を対象に設けられていますが、ご自身の履修計画に余裕があれば、2年生以下でも履修することができます。また、司書課程科目は第2部に開講されていますが、学部の学生も受講することができます。

課程科目？

17 学校図書館司書教諭課程の履修

(1) 趣旨

学校図書館法の改正に伴う学校図書館の再評価と、その担当者としての司書教諭に対する重要性の認識のもとに、将来教職を目指す本学学生を対象として、学校図書館司書教諭課程を設置しています。

(2) 学校図書館司書教諭課程科目

本学においては文部科学大臣の認定を受けて、大学における科目の単位を司書教諭講習の科目の単位に相当するものとして、司書教諭課程を開設しています。本学の「学校図書館司書教諭課程に関する履修規則」に定められた課程科目の単位を全て修得したのち、司書教諭講習実施大学である放送大学の「学校図書館司書教諭講習」に申込み手続きをし（別途費用が必要）、単位を読替えることで、放送大学より1年後の3月下旬に修了証書が送られます。申込み条件等の詳細については、教務入試班にお問い合わせください。申込みの時期は掲示やGAIDAI PASS等でお知らせします。

外国語学部 ディプロマポリシー 「行動する国際人」

研究指導
卒業論文

コース科目

学科基礎科目
専攻語学

専攻語学
兼修語学

全学共通科目

DP 5. グローバル化された社会で行動し生きる力

DP 4. 専門的思考力・表現力

語学文学	国際法政	経済・経営	多文化共生	リベラルアーツ
専攻する地域の言語・文学・文化について十分な認識を持っている。複眼的な思考力を身につけている	歴史的背景や社会的文脈を理解した上で、現代の国際社会が抱える諸問題に向き合うことができる	経済学、経営学、または商学を体系的に習得し、自身の関心のある問題に応用できる能力を身につけている	多様なバックグラウンドを持つ人々との共生を図るための行動力を身につけている	人文学・社会科学・自然科学などリベラルアーツの根幹となる諸分野を理解し、多角的、批判的に思考する力を身につけている

DP 3. 高度な外国語運用能力

英米	ロシア	中国	イスパニア	国際関係
歴史・文化・言語学的背景に基づいて英語を理解するとともに、自らの学問的関心の追求に適した高度な運用能力を身につけている	自らの目的や課題のために必要な情報や知識を獲得し、自らの意見を効果的に表現できるロシア語の総合的運用能力を身につけている	中国語圏の多様な言語・文化・社会状況への理解に裏打ちされた、時代の変化や地域的特性に柔軟に対応できる総合的な中国語運用能力を身につけている	歴史的・文化的背景に基づいて情報を的確に理解するとともに、自らの見解を効果的に発信するイスパニア語の能力を身につけている	批判的・客観的な国際感覚に基づいた、国際社会で通用する英語の運用能力と自己表現力を身につけている

DP 2. 世界の多様性を観る力

DP 1. 能動的に学ぶ力